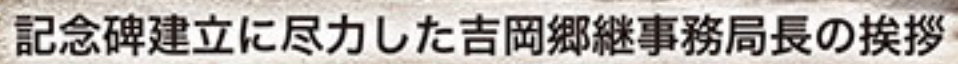
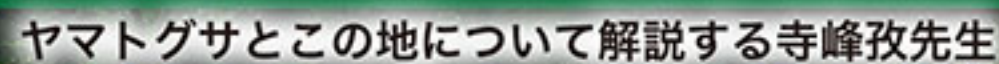
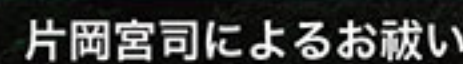
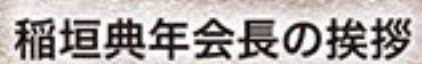
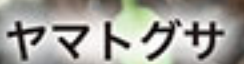
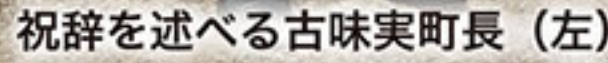
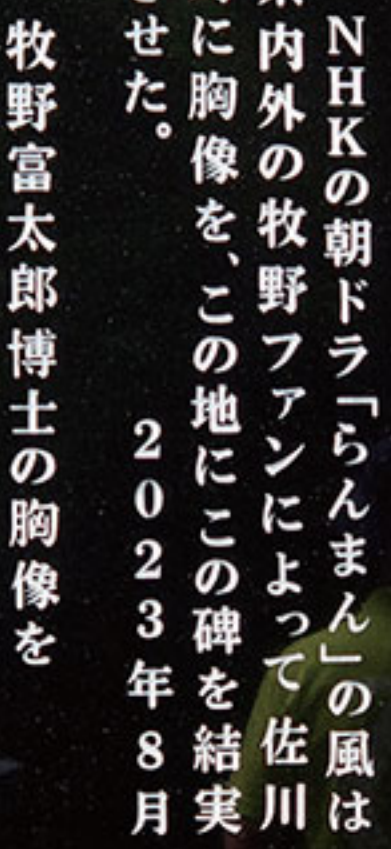


*2023年9月発行 *企画・制作・発行・デザイン/ 朝ドラ「らんまん」を応援する会
〒789-1201 高知県高岡郡佐川町奥の土居 市川方 kawazumakeruna@bell.ocn.ne.jp



秋葉祭りが伝承される仁淀川町に



日本の近代植物分類学発祥の地に「ヤマトグサ発見の地」記念碑建立

咲き誇る花の音 コンサート

阿部海太郎

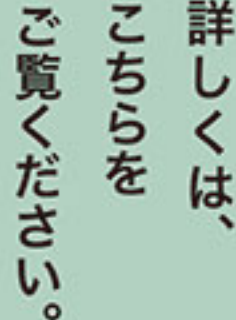
山下俊輔
「龍馬伝」らんまん「ギタ」

龍馬伝「らんまん」ギター演奏

9/24 SUN

→さらに、10月29日（日）には、高知県立県民文化ホール（オレンジ）で、「らんまん」のレコーディングメンバーや、信頼する指揮者を高知に招き、阿部氏と共に、「牧野富太郎ボタニカルオーケストラコンサート」を企画された山下さん。高知の音楽文化を紡ぐ世代でもある高知香南ジュニアオーケストラや、高知ゆかりの音楽家とのコラボコンサートを実現してくれます。

2017年、以前ブログ(11月6日)
に書かせていただいた記録より
「シネマの食堂」参加10周年記念
企画「ふたつの紫陽花」報告
【vo6. 第2部 ふたつの紫陽花】



な機会をいただきました。
振り返ってみると、やはりそこには、ありがたい「出会い」繋がってくださった人のご縁があったことに気付かされます。全ての始まりは、高知の料亭の女将、濱口実佐子さんが、あの日私に紹介してくれた一枚のCD、このCDの中に入っていた「紫陽花」という曲との出会いでした。

現在、この原稿を書いているのが、丁度「らんまん第21週ノジギク」の放送真っ只中です。寿恵子が、叔母・みえの料亭で働くことになり、そこで得意客の岩崎弥之助と出会うという場面です。史実のニュアンスを残しながら、あくまでもフィクションとして自由に伸び伸びと魅せ場を作っていく長田育恵さんの脚本には、今回も唸らされました！

実はこの秋、私たち「Jスズエゴザサ」関係のメンバーですが、佐川町桜座で、らんまんの音楽担当阿部海太郎さん、と、らんまんギター演奏の山下俊輔さんと一緒に舞台上に立たせていただけるという幸運な機会をいただきました。



2023年10月29日(日) 14時開演
高知県立県民文化ホール オレンジホール

牧野 富太郎
 Makino Tomitaro
 ボタニカルオーケストラ
 Botanical Orchestra
 コンサート
 Concert

【日時】2023年10月29日(日) 13時開場 14時開演



料金 ※全席指定
S席(1階) → (前売) 3,800円 (当日) 4,300円

A席(2階) → (前売) 2,800円 (当日) 3,300円
チケット取り扱い
○ローソンチケット(Lコード=62582)
○京知恵堂書店文化ホール

○かるぽーと
○高知県立美術館ホールミュージアムショップ

高知県立県民文化ホール TEL 088-824-5321

牧野富太郎の植物への愛情を愛すべき楽器たちの音色が映この日だけの演奏会

植物学者牧野富太郎をモデルにした物語『ふたたび』を舞台にしたオペラ、植物学者の野望と愛とを綴るに、音楽への愛情も際立って見えた。その音楽美が、物語の世界をより豊かにした。演奏するところでは、演奏者も高知の音楽アカデミアの学生として、演奏アカデミアの先生から指導を受けている。この日開演の演奏会に来たお客の半分がアカデミアの学生と先生たちから送られて結成された、この日開演のコンサート。牧野富太郎の植物アカデミアの学生として、牧野富太郎は植物園にアカデミアとして豊かな環境を、その音楽が咲き誇るコンサートホールを、ぜひお出掛けください。

歌野富太郎 ボタニカルオーケストラ

指揮：横本卓也

演奏：高知交響楽団 高知若青年ジュニアオーケストラ 小舟聖枝(ヴァイオリン)
原真聖江江(ヴァイオリン) 三谷清子(ヴァイオリン) 島津美穂(チェロ) 眞貴由(フルート)
結本聖堂(ホルン) 前田俊紀(クラリネット) 中田小弥生(ファゴット)
森美英佳(ピアノ) 堀米雄(ハープ) 山下慎輔(チェロ)

中村大史(アコーディオン、バンジョー) 阿部海太郎(ピアノ、アコーディオン)

高知県立県民文化ホール 協賛 山形製粉所 匠造茶屋記 セントラルグループ 寺村建設 株式会社東映映画 株式会社北野建通 ほろやちの森医院 株式会社みんぷろ ミナミ建設工業株式会社
株式会社社会社ニート りーめんたじョムザ 学芸法人龍馬学園 SLコンソールディング(株) (株)第一コンサルタンツ 5019 PREMIUM FACTORY 株式会社 健洋
TEL 088-824-5321 協賛 株式会社 ZEV2010 高知県立県民文化ホール (高知県立県民文化ホール共同企業会) 協賛 高知商 高知市教育委員会

○イテラレーション 島田リゾル ○デザイン 江藤和典(PAPER LABO)

**よみがえる、あの名場面！ 連続テレビ小説「らんまん」オリジナル
サウンドトラック。コンサートの予習にオススメです！（vol.2も発売中！）**



理学部牧野標本館」を提示し、「これらの標本もこの地に初めて里帰りしたといえる。牧野先生も喜ばれていると思います」と感慨を新たにした。

佐川町の牧野公園に牧野博士の胸像を今年5月に建て、続いて上名野川に「ヤマトグサ発見の地」記念碑を建てることに尽力した吉岡事務局長は最後に挨拶したように述べた。

「稲垣会長に去年、広島県八幡湿原にある牧野先生ゆかりのカキツバタの碑を見せられて愕然とした。一番最初にヤマトグサを発見したという日本の植物学史上大変意義のあるこの土地になにもない。それじやいけないと思い、私は仁淀川町出身でもあるすから何とかしてこの地区長をやられている掛水さんにご相談するの快く引き受けてくれた。仁淀川町や地元の上名野川の方々からも多大な協力をいただいた。心より御礼申し上げます」。

「ヤマトグサ発見の地」記念碑建立の経緯には次の文章が刻まれました。

「NHKの朝ドラ『らんまん』の風は県内外の牧野ファンによって佐川町に胸像を、この地にこの碑を結実させた。 2023年8月」

(文市川浩司)

名野川ゆかりのヤマトグサについては植物学者の寺峰茂先生が解説。明治17年（1884）11月に牧野博士が最初にこの地で採集したヤマトグサのタイプ標本（画像写真 協力・東京大学附属小石川植物園）と明治21年（1888）5月に地元の小学校の先生だった渡辺荘兵衛氏が採集し、牧野先生へ送った花付のヤマトグサのタイプ標本（画像写真 協力・東京都立大学）

もよろしくお願いします」と述べた。

続いて挨拶した古味町長は建立に至る経緯に触れ、「この記念碑の建立には佐川町に建立した博士胸像に対する寄付金が活用されています。多くの方々の善意により新たなゆかりの地が誕生したことに對し心から感謝申し上げます。今後はこの地を巡るツアーや周辺景勝地とコラボしたツアーができることを期待しております。多くのヤマト古サ記念碑の建設に積極的に働かていただいたい吉岡郷親様、また多くの関係者に衷心より感謝申し上げお祝いの言葉とさせていただきます」と祝辞を述べた。

種人々も見守るなか降幕を行いました。1970年には木でできたヤマトグサ発見の地の記念碑もあったが、既にヤマトグサはここにはなかった。多分樹木が茂り日照が悪くなったからだろう。今はこの近くに新たに植栽してくれ、見事に復活しているのはうれしく思う。牧野富太郎が発見した植物でこういう碑があるのは、広島県北広島町八幡瀨原のカギツバタの句碑、東京江戸川区小岩のムジナモ発見の碑がある。一番大事なヤマトグサの碑が無くなって残念に思っていたがこうして出来た。こういうことを全国に広めていきたいので、今後と

時は30分から除幕式が開催されました。
式は大祇神社の片岡宮司によるお祝いの後、仁淀川町の古味実町長等役場
関係者、上名野川地区代表の掛水盛弘氏、高知県立牧野植物園の藤川和美広
報課長、同碑の建立者である、牧野富郎博士の胸像を生誕地に建てる会（会長・
堀田典年、事務局・長・吉岡郷継）の面々が参集、大山祇神社の神祭に帰帰し

日本人 牧野富太郎と大久保三郎が日本の植物の「新種」に学名を与え、
 日本人の雑誌に発表し始めた初めての植物「ヤマトグサ」を牧野博士
 が初めて採集した場所は、仁流川町土名野川にある大山祇神社の境内であつた
 といわれています。このほど、日本の近代植物分類学発祥の地とも言えるその
 場所に「ヤマトグサ発見の地 記念碑」が建立され、令和5年8月1日午前10

「サ発見の地」 記念碑建立

ヤマザクラ、バイカオウレン、ムジナモ、ジョウロウホトトギス：牧野富太郎博士によって、それぞれの植物に名前が付けられたように、らんまんの音楽担当、作曲家の阿部海太郎氏によって、それぞれの植物のイメージで曲が作られていて感動でした！「博士が植物へ注いだ愛情と同じように、自分を育ててくれた音楽への愛情を注ぎたいと思いました。植物図鑑を眺めるように、天然の音たちを楽しんでいただけたら幸いです（阿部氏のことばより）」

高知出身ギタリスト山下俊輔さん、らんまんの音楽担当阿部海太郎さんを高知に連れてきてくださり、ありがとうございます！

脚本家・長田育恵さんが語る牧野富太郎博士への思い

連続テレビ小説「らんまん」(NHK)の脚本を手掛けた長田育恵さんに、物語の主人公・榎野万太郎(神木隆之介)のモデルとなった世界的植物分類学者の牧野富太郎博士生誕地、佐川町に来ていただき、主人公・万太郎にこめた牧野富太郎博士への思いや、放送後だからこそ聞ける面白いエピソード、苦労話などをたっぷりとお聞きます。



＊長田育恵さんプロフィール

劇作家・脚本家。東京生まれ。2007年に日本劇作家協会・戯曲セミナーに参加し、翌年より井上ひさし氏に師事。09年、劇団「てがみ座」を旗揚げ。16年に『蜜柑とユウウツ』茨木のり子異聞にて鶴屋南北戯曲賞、18年に『砂塵の二ヶ』てがみ座『海越えの花たち』『豊饒の海』にて紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞した。近年は、劇団四季『ロボット・イン・ザ・ガーデン』の舞台公演のほか、NHK『流行感冒』『旅屋おかえり』等の映像作品の脚本も執筆。最新作は、現在放送中のNHK連続テレビ小説『らんまん』。

他にもこんなプログラムが！

■講演：「佐川町の魅力と酒造りの歴史」

講演者 / 司牡丹酒造(株)代表取締役社長 竹村昭彦さん

■オルガン演奏

牧野博士が佐川町に贈ったと言われる足踏みオルガンの演奏

日本リードオルガン協会 会長 中村証二さん

＊と き : 令和5年10月1日(日) 13:00 開演(開場 12:30)

＊ところ : 佐川町立桜座 ホール

＊入場料 : 2,000 円(税込) ※山椒餅のお土産付き (当日会場でお渡し)

＊発 売 : チケットぴあ、桜座、一般社団法人さかわ観光協会にて

＊9/1(金)10:00 から発売中

＊主 催 : 佐川町

＊お問合せ : さかわ観光協会

高知県高岡郡佐川町甲 1474 番地 TEL0889-20-9500

よさこい祭り！「京町・新京橋あびすしばてん連」総勢110名の踊り子が、牧野博士と共に70周年を舞う。



高知城に向かって踊る追手筋旗舞。日曜日で知られる通り



今年66回目の出場となる「あびすし」の2023年のテーマは「恋する人」。朝ドラ「らんまん」のモデル、牧野富太郎と妻・寿衛が花に恋したように、踊る方見る方関係なく「よさこいに恋した人達」が一緒に楽しめるようにとのこと。総勢110名の踊り子達が、牧野博士が描かれた袖を振る姿は圧巻でした！



はりまや橋競演場で、お客様目線で撮影させていただいた映像がございますので、QRコードから是非！



第70回よさこい祭り2023
京町・新京橋「あびすしばてん連」
はりまや橋競演場



次号は「まきのさんの道の駅」特集！
「佐川おもちゃ美術館」と一緒に
ご紹介させていただきます！

